

チュートリアル課題 買い物が辛い

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-01-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032695

2016年度 Segment. 6

課 題 No.2

課題名：買い物が辛い

課題作成者：整形外科学
解剖学

森田裕司
早川 亨



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

圭子さん（52歳）は、最近、肩径部から大腿部の痛みを感じ、歩行できる距離が短くなり、買い物に行くのが辛くなりました。そこで、病院に行くことしました。病院の受付では、問診表を記入するように言われました。

シート2

圭子さんは、乳児3ヶ月健診で異常を指摘されていました。30歳代から動作開始時に肩径部の違和感がありました。最近では歩行時や荷重時に疼痛が出現し、時に夜間にも痛むことがあります。階段昇降に手すりが必要になり、立ち仕事も困難になりました。

シート3

診察では、まず、“歩いてみて下さい。”と言われました。次に、後ろを向いて、左右の片足で立たされた後、腰を屈めたり、反らすように言われました。それから、診察台に座り、ハンマーで膝の下とアキレス腱を叩かれました。最後に診察台に仰向けになって、足の長さを測定され、股関節を動かしながらの診察を受けました。診察が終了して、“X線写真を撮って来て下さい”と言われました。

シート4

X線検査を終えて、診察室に戻った、圭子さんは、“生まれたときの影響で、関節の隙間がなくなっていますね。隙間が残っていれば、人工関節置換術以外の手術も可能でした。でも、すぐ手術が必要なわけではありません。”と説明を受けました。